

# 第5回「自然散策会」報告

## —北本自然観察公園—

日時： 2024年10月22日（火曜日） 10時～14時  
参加者： 石井・池田・河野・久保・鴻森・関谷・廣川・藤井・芳野・市川  
（計10名他鴻森様の奥さま参加）  
報告： 市川

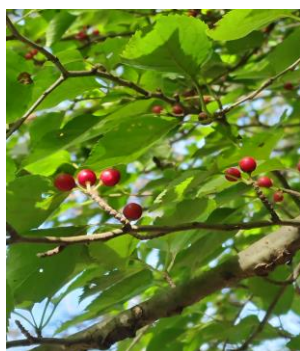
10時、ふれあい橋を渡った先の「自然学習センター」に今日の参加者10名が集まり、この公園の紹介と今日の観察ルートの説明後、観察会の開始となりました。

まず、きれいに整備された木道を歩いて湿原の観察。両側にはピンク色のミゾソバの花が群生しています。ヨシ、セイタカアワダチソウの中、タウコギやタコノアシも見られました。進んでいくと、2019年の春までは大きく枝を広げて咲いていたエドヒガンの古木が痛々しい姿で横たわっていました。2019年の秋、台風の後、突然根元から折れてしまったとのこと。ルートは、八つ橋を渡る池の水生植物群へ。ガマの穂が今にも爆発しそうな姿で付いていました。その一角で葉が階段状に編み込まれた不思議なヨシに出会いました。「タテシマノメイガ」の幼虫の仕業とか。まさに芸術的でした。

谷あいの小道にはムラサキシキブ、コマユミ、クサギ、スズメウリの実が所々で見られ、クワ、ケヤキ、クヌギなどの雑木林の木々も少しずつ秋色になり始めていました。

そして暗夜に乗じて谷間に一夜で堤を築き、攻め込み、堅い守りの石戸城を落城させたという史跡、「一夜堤」を通過して、桜堤で昼食。その後も参加者同士で道中、気が付いたものを伝えたり伝えられたりしながら園内をほぼ一周して自然学習センターに戻ってきました。

暖かい日差しと涼しい風の中、秋の気配を感じながら、楽しい一日を過ごすことができました。今回の企画と園内の案内、そして車の送迎をまでして下さった藤井さん、お世話になりました。参加者の皆さまお疲れさまでした。たくさんのことを教えて頂きました。ありがとうございました。



アオハダ



編み込みヨシ



ヒイロタケ



タコのアシ



河津さくら



参加者で



クサギの実